

■ドイツ：電力大手 RWE が年間 15 億ユーロを再エネ関連で投資へ

2019 年 1 月 18 日の環境情報サイトは、ドイツの大手エネルギー事業会社の RWE が今後再生可能エネルギー関連事業に毎年 15 億ユーロ（約 1,800 億円）を投資していく意向であると伝えた。RWE は再生可能エネルギーへの投資を今後の事業戦略の柱と位置づけており、2018 年、同じくドイツ大手エネルギー事業者の E.ON と資産交換取引について合意し、E.ON が持つ再エネ発電資産を取得することになっている。RWE はこの取引が完了すると 860 万 kW の再生可能エネルギーを保有することになり、電力の約 60%は低炭素電源あるいはゼロ排出電源から供給される。この方向をさらに強化するため、RWE は年間 15 億ユーロを再エネに投資する。欧州の電気事業者は再エネへの投資を拡大しており、イタリアの Enel は 39 億ユーロ（約 4,900 億円）、スペインのイベルドロウラは 23 億ユーロ（約 2,900 億円）を再エネに投資すると報じられている。